

第3次徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの取組状況（令和6年度）

1 取組状況について

全20項目の事業について、令和6年度の取組実績（見込）をもとに、各事業における成果指標の目標値（令和7年度）に対する進捗状況を評価した。

2 「成果指標」の進捗評価結果（概要）

昨年度と比較すると「A：順調」となった事業が1件増加、「B：概ね順調」となった事業が1件減少、「C：要改善」となった事業が2件増加した。

政策分野	取組事業数	評価結果		
		A：順調	B：概ね順調	C：要改善
1 生活機能の強化に係る政策分野	11	3	7	1
医療	1		1	
福祉	1		1	
教育	1	1		
産業振興	6	1	5	
環境衛生	1	1		
その他	1			1
2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	5	3	1	1
道路等の交通インフラの整備	1	1		
地域内外の住民との交流・移住促進	3	1	1	1
その他	1	1		
3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	4	2	1	1
宣言中心市等における人材の育成	1	1		
宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	1			1
その他	2	1	1	
合計	20	8 (40%)	9 (45%)	3 (15%)

※（％）は、全体のうち、A、B、C、一と評価された事業の割合

3 連携する具体的な取組事業の実績について

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

■ 医療

① 地域医療の連携（1市2町）

事業名	徳島市民病院との連携強化事業				
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町				
取組内容	徳島市民病院を核とした圏域内の自治体病院との医療連携の構築を図るとともに、地域医療向上のため、地域の医療従事者に対する教育と研修に努める。				
成果指標	連携施設から徳島市民病院への紹介患者数（年間）				
	当初値(令和元年度)	7人	目標値(令和7年度)	15人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)
	5人	11人	10人	3人	
進捗状況	合同研修会は、勝浦病院において令和7年2月20日に開催を予定している。紹介患者数については、連携施設において他の病院への紹介が必要となった患者のうち、病状その他の理由により、徳島市民病院への紹介が少なかったことが原因である。				進捗評価
					B
今後の方向性	連携施設に対し、急性期病院としての徳島市民病院の取り組みをさらにアピールしていく。				
<p>【令和6年度の実績】</p> <p>○徳島市民病院において、連携施設からの紹介患者に対する医療の提供・がん患者の積極的な受け入れを行った。</p> <p>【患者数】3人（勝浦病院2人、上勝診療所1人）※令和6年12月現在</p>					

■ 福祉

② 子育て環境の充実（全市町村）

事業名	病児保育事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	圏域内住民に対する子育て支援の充実を図るため、連携市町村が実施する病児保育事業について、病児・病後児（概ね10歳未満の急性期を経過した病中病後の児童）の広域利用を可能にする。					
成果指標	病児保育利用延べ人数（年間）					
	当初値(令和元年度)	7,798人	目標値(令和7年度)		10,029人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7
		5,729人	4,612人	6,392人	5,555人	
進捗状況	令和6年度に入り、徳島市内の病児保育実施施設が1か所閉院されたため、実績の数値としては昨年度より減少する見込みである。(R7年度には1施設が開院予定)				進捗評価 B	
今後の方向性	病児保育実施施設や広域利用に対応した自治体と連携を取りながら適切な運営に努める。					

【令和6年度の実績】

○病児保育事業の広域利用を、徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町の全市町村で実施した。

◎広域利用可能施設

- ・ふじおか小児クリニック（徳島市）
 - ・愛育小児科（徳島市）
 - ・ひなたクリニック（徳島市）
 - ・徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院（小松島市）
 - ・伊勢内科小児科（石井町）
 - ・富本小児科内科（藍住町）
 - ・田山チャイルドクリニック（徳島市）
 - ・えもとこどもクリニック（徳島市）
 - ・未広ひなたクリニック（徳島市）
 - ・北島こどもクリニック（北島町）
- （順不同）

※えもとこどもクリニックは令和6年度閉院のため未実施

○広報用リーフレットを15,000部作成し、市立・私立保育所及び委託医療機関等で配布したほか、各市町村において転入者にも配布した。

○広報紙や各市町村ホームページ等の広報媒体を活用し、引き続き広域化を周知した。

■ 教育

③ 公共施設の広域利用（2市3町）

事業名	圏域内図書館相互利用事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・北島町・藍住町					
取組内容	連携市町村の個人利用に限定した「利用者カード」を発行し、連携市町村立図書館の相互利用を実施する。					
成果指標	相互利用登録者数（累計）					
	当初値(令和元年度)	3,083人	目標値(令和7年度)		4,500人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7
		3,734人	4,165人	4,775人	5,287人	
進捗状況	取組内容のとおり着実に事業を行った結果、目標値に向けて順調に実績を残すことができた。				進捗評価	
					A	
今後の方向性	取組を着実に続けていくことにより、安定した実績を残していく。					

【令和6年度の取組実績】

○徳島市立図書館、小松島市立図書館、北島町立図書館及び藍住町立図書館の相互利用を実施した。

○図書館相互利用状況・居住地別新規登録者数（令和6年12月末現在）

	新規登録者 (人)	居住地別				
		徳島市民	小松島市民	北島町民	藍住町民	石井町民
徳島市立図書館	125	—	35	23	32	35
小松島市立図書館	49	45	—	2	1	1
北島町立図書館	140	89	1	—	48	2
藍住町立図書館	75	49	0	7	—	19
合計	389	183	36	32	81	57

■ 産業振興

④ 圏域内の観光資源を生かした観光開発、観光誘致（全市町村）

事業名	観光開発・観光誘致事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が有する自然や歴史・文化など、さまざまな観光資源を発掘して魅力向上を図ることで圏域での観光エリアを形成し、宿泊、地元食材を生かしたグルメなどの体験観光による長期滞在型観光を実施するとともに、観光資源やイベント等の情報発信・PRを一体的に行い、関連産業の拡大や観光消費の活性化を図り、圏域内外での交流人口を拡大する。				
成果指標	連携市町村観光客入り込み数（年間・暦年）				
	当初値(令和元年)	8,988千人	目標値(令和7年)		10,000千人
	実績(暦年)	R3	R4	R5	R6(見込)
	5,405千人	6,719千人	7,729千人	8,900千人	
進捗状況	都市部を中心に外国人観光客が増加し、オーバーツーリズムとなっているが、徳島東部圏域などの地方都市までその効果は完全には波及しておらず、指標の達成には至らなかった。国でも地方誘客を推し進めており、目標値達成に向けてしっかりと取組みを進めていく。				進捗評価 B
今後の方向性	<p>徳島東部DMOを中心に、次の取組みを進め、圏域への誘客を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する旅行ニーズに対応し、インバウンドの取り込みが期待できる、体験型観光やサステナブルに焦点をあてた観光コンテンツの磨き上げを行い、滞在型・通年型の観光地への転換を図る。 ・観光DXを推進し、ストレスフリーな手ぶら観光の提供や来訪者へのプッシュ型による観光情報の提供といった地域一体となった取組みを展開していく。 ・2025 大阪・関西万博や国際定期航空路線の運航にあわせて、インバウンド向けプロモーションを積極的に行い、その効果を圏域に波及させていく。 				
<p>【令和6年度取組実績】</p> <p>○徳島東部地域 DMO を中心とした観光地域づくりの推進</p> <p>◇マーケティングリサーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳島東部への来訪者を対象とした観光アンケート調査や地域住民への満足度調査の実施 <p>◇情報発信&プロモーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用したデジタルプロモーション ・万博を意識して阿波人形浄瑠璃をフックとするリアルプロモーションの実施 ・国際定期航空路線の運航にあわせた香港での商談会やタイでの旅行セミナーの実施 ・徳島の歴史・文化体験をパッケージとしたインバウンド向けインフルエンサー招聘ファムツアーを実施 <p>◇観光客受入環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうたん島周遊船の高付加価値化のため、劇場型のクルーズ船運航の実証運航を実施 ・徳島市・鳴門市エリアで開始した地域一体となった観光DXを徳島東部に拡大するとと 					

もに、ランキング機能の実装など機能面を充実

- 圏域での周遊性向上のため、南に位置する神山町で観光案内所や宿泊施設の高付加価値化を実施
- 訪日外国人向けに、高付加価値化サイクリングコンテンツを造成
- 観光デジタル人材育成を図るため、人気映像クリエイターを招聘し、市内高校生や一般の方を対象とした特別講座の実施や徳島東部を題材した映像を制作

◇セールス活動

- 9月：国内最大級の旅の祭典「ツーリズム EXPO ジャパン」や訪日外国人向けの商談会である「VJTM」でのセールス活動
- 5月～11月：東京・大阪の大都市等で開催される各種商談会等でのセールス活動
- 1月～2月：インバウンド誘客促進のため、香港やタイでの商談会・セールス活動

○とくしま動物園リニューアル事業

- 圏域の観光資源の1つである動物園の魅力向上のため、リニューアル事業に取り組んだ。
- 圏域内市町村の成人式に「徳島東部地域定住自立圏無料招待券」を配布（3,300人）し、来園を促した。
- 動物園センター内に圏域内市町村の観光パンフレットを設置し、来園者に配布した。

○連携市町村が実施した主な取組

◇勝浦町

- ビッグひな祭りの開催
令和7年2月22日から第37回元祖阿波勝浦ビッグひな祭りを開催予定。
期間中の集客数は、約18,000人を超える見込み。
- グリーンツーリズムについて
あかりの里を実施し、おひな巡りも実施予定。ほかにも各種体験コンテンツを実施。
- 道の駅ひなの里かつうらについて
令和6年度の道の駅のレジ通過客数は、10,000を超える見込み。

◇上勝町

- 「ゼロ・ウェイストチャンネル動画施策」
当初予定の動画制作を保留。登録者数：5,720人、投稿動画数：28本
- 「ゼロ・ウェイストの情報発信ポータルサイト」
コンテンツの充実をはかりつつ、国内外に向けた情報発信を継続的に行っている。
ゼロ・ウェイストに関心のある層の来町を促進し、交流人口の拡大につながっている。

◇佐那河内村

- 東部地域特産品PR事業
大川原ヒルトップハウスにて、特産品販売所及び観光案内所を設け、村内産の野菜や手工芸品等の販売を行うと同時に、圏域内を含めた観光案内を行った。
- ふるさとづくり納涼夏祭り補助金
令和6年8月13日（火）に実施。圏域内外を問わず今回も1300人以上が訪れ、村内外の団体によるステージや打ち上げ花火を行った。
- さなごうち大川原高原ヒルクライム2024
令和6年10月6日（日）に開催。競技用自転車で大川原高原までをヒルクライムする自転車の大会で、136人が出走した。

- ・ふれあいまつり執行補助

令和7年2月2日に開催。農林産物展示・農林産物即売・文化作品の展示などを行った。

◇石井町

- ・納涼夏祭り補助金

石井町飯尾川公園において、石井町納涼夏祭りを開催し、新たなにぎわいの創出を図った。

- ・石井町商工会運営事業補助金

桜まつり（3月下旬から4月上旬）・藤まつり（4月中旬から4月下旬）を開催。ライトアップ、模擬店の出店、藤の花ウォーキング等のイベントを実施し、町内外の方に魅力発信した。

- ・ウインターイルミネーション（12月中旬から1月上旬）を開催。12月9日に点灯式イベントを実施し、観光客の誘致及びにぎわいの創出を図った。

- ・ふじっこちゃんPR事業（観光費一般諸費）

観光やまちのPRを図るため、石井町イメージキャラクター「ふじっこちゃん」グッズとして、タオル、ボールペン等を作成した。

- ・ふじっこちゃん宝くじ141事業

町内参加店にて景品があたる抽選券を配布し、町内での消費需要拡大を促した。

◇北島町

- ・北島チューリップ公園の運営・チューリップフェアの開催

春のメインイベント「チューリップフェア」を北島チューリップ公園で開催し、連携市町村の観光地との連携による観光客の誘致を図った。

- ・花づくり稼働事業

休耕田を持つ希望者に花の種を配布し、植えてもらうことで景観美化に努めている。

⑤ 地域特産品を生かしたブランド化及び地産地消の推進（全市町村）

事業名	特産品ブランド化・地産地消推進事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	農林水産物加工品等の圏域外に向けた販売やPRを推進するとともに、「とくしまIPPIN店」認定店の圏域内拡大、圏域内の関係団体との交流などについて、圏域全体で連携して取り組む。				
成果指標	とくしまIPPIN店認定数				
	当初値(令和2年度)	161店	目標値(令和7年度)		180店
	実績(年度)	R3 170店	R4 154店	R5 151店	R6(見込) 149店
進捗状況	HP等で広報活動を行ったが、閉店により店舗数の減少となった。店舗情報の更新については、新たにSNSで周知活動を行った。				進捗評価 B
今後の方向性	SNSを活用した広報活動を行い、地産地消の促進を図る。				

【令和6年度の取組実績】

○地産地消推進事業

- ・連携市町村において「とくしまIPPIN店」認定の募集・拡大を継続するとともに、広報媒体によるPR活動を積極的に行うことで、地産地消の推進を図った。
- ・「とくしまIPPIN店」において、地元産食材を使用した料理、加工品等を消費者に直接味わってもらうことで、消費拡大につなげた。

○連携市町村が実施した主な取組

圏域の各市町村が農水産物のブランド力向上のための取組を行ったほか、販売促進のための取組を実施し、圏域内での地産地消を推進した。

- ・勝浦町みかん販売促進協議会（勝浦町）
協議会事業としてラジオCMを利用して、勝浦みかんのPRをおこなった。
- ・「阿波かつうら」及び「かつうら熟成みかん」の認知向上（勝浦町）
JR横浜駅にデジタルサイネージ広告、横浜市内を中心にWEB広告をおこなった。広告にあわせて横浜市内量販店において「かつうら熟成みかん」の名前で販売ブースを確保した。
- ・阿波かつうらブランド化事業（勝浦町）
勝浦町産品の中から、独自の魅力を持った優れた産品を、阿波かつうらブランドとして認証し、各種イベント等で阿波かつうらブランドの商品の物販を行い、商品のPRをおこなったり、地元の中学校と共同し、商品開発をおこなったりした。
- ・農業祭事業（石井町）
石井町農産物品評会を開催し、町内の生産物を出品し、競い励まし合うほか即売会も行った。
- ・産地直売市の開催（藍住町）
「正法寺川クラフト&マーケット」、「あいずみスマイリーマルシェ」、「商工藍ラブフェス

「フェスティバル」などのイベントにおいて産地直売市を開催し、旬の野菜の対面販売を行った。圏域内からの来場者への対面販売により消費者ニーズの把握、町産野菜をPRし、地産地消を推進した。

⑥ 地域資源や企業等の技術を活用した産業の育成（2市5町）

事業名	コミュニティビジネス起業支援事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
取組内容	地域産業の活性化を図るため、コミュニティビジネスの普及啓発、コミュニティビジネスに対する起業支援や経営支援等の検討、圏域内連携による起業情報提供（ホームページ等）を行う。					
成果指標	コミュニティビジネスセミナー参加者数（年間）					
	当初値(令和2年度)	8人	目標値(令和7年度)		20人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7
		14人	11人	20人	14人	
進捗状況	順調に進捗している。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	コミュニティビジネスで起業・創業する人の知識取得や人的交流などの支援を行っていききたい。					

【令和6年度の実績】

○地域の課題をビジネスの手法で解決するコミュニティビジネスに関心のある方を対象に、創業セミナーを開催（連続4回）した。また、セミナー時に、起業に関する相談等創業支援事業者間の連携体制を周知した。

【セミナーの内容】

- 第1回 10月 3日：思いの種を見つけよう！
- 第2回 10月 10日：思いの種をまこう！
- 第3回 10月 17日：思いの種を芽吹かせよう！
- 第4回 10月 24日：思いに花を咲かせよう！



セミナーちらし

⑦ 圏域内への企業誘致の推進（2市4町）

事業名	企業誘致活動推進事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・石井町・松茂町・北島町・板野町					
取組内容	効果的な企業誘致活動ができるよう、徳島県や地元企業とのネットワークを新たに構築し、活用するとともに、新たに立地を求める企業が情報収集し易い環境整備を図るため、企業目線で連携市町のホームページを整備し、利便性・満足度の向上を図る。					
成果指標	誘致した企業数（累計）					
	当初値(令和2年度)	58社	目標値(令和7年度)	88社		
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7
		59社	69社	79社	90社	
進捗状況	工場については、産業団地の完売等による用地不足のため、新規の誘致（建設）が難しくなっている。貸しオフィスを活用した情報通信関連事業等の誘致に努める。				進捗評価 A	
今後の方向性	より一層の企業誘致制度の周知を図り、企業誘致の増加に努める。					
<p>【令和6年度の取組実績】</p> <p>○各自治体の企業誘致ホームページの相互リンク 各自治体の企業誘致ホームページを相互リンクすることで、立地候補地の情報収集を行う企業に対し、各市町村単位だけでなく圏域としてもアピールを行い、より効果的な企業誘致活動につなげた。</p>						

⑧ 中心市街地の都市機能の充実（全市町村）

事業名	中心市街地都市機能整備事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	中心市街地のにぎわいや回遊性等を高めるため、徳島市の成長戦略の柱である「地域産業の拡大」「都市中心部の魅力の向上」「定住人口の維持拡大」に関連するさまざまな事業を実施し、観光・産業の振興を主とした都市機能の強化を図ることで、人々がいつも訪れ、居住者が増え、新たな雇用を生み出していく中心市街地づくりを推進する。				
成果指標	中心市街地が便利で活気にあふれていると感じる市民の割合 (中心市街地に活気が戻ってきたと感じる市民の割合：徳島市市民満足度調査)				
	当初値(令和2年度)	7.8%	目標値(令和7年度)	12.0%	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
	6.2%	8.6%	9.5%	9.9%	
進捗状況	ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業に係る取組は、概ね計画していた通り、実施できている。				進捗評価 B
今後の方向性	「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」に基づき、ひょうたん島川の駅ネットワークがまちの活性化につながるよう、事業を検討・実施していく。				
<p>【令和6年度の実績】</p> <p>○ひょうたん島川の駅ネットワーク推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校（3校）と連携し、周遊船を利用した社会見学を実施した。 ・市民だけでなく観光客を始めとする来街者に乗船場所がわかりやすいようなサインを設置（1箇所）した。 <p>○新ホール整備事業</p> <p>県市協調による新ホール整備に関する役割分担等を定めた基本協定に基づき、周辺インフラ整備を進めた。</p>					

⑨ 鳥獣害対策の推進（2市6町1村）

事業名	鳥獣害対策推進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・板野町・上板町				
取組内容	圏域内の市町村、地区猟友会、農協など関係団体での情報共有を図るとともに、圏域内市町村が連携して広域的に鳥獣害対策を推進する。				
成果指標	鳥獣侵入防止柵の設置延長（R3～R7 累計）				
	当初値(令和元年度)	29,004m (H28-R2 累計)	目標値(令和7年度)		15,000m
	実績(年度)	R3 3,274m	R4 6,852m	R5 9,926m	R6(見込) 11,313m
進捗状況	市単独事業による侵入防止柵設置補助の実施のみで、想定は下回る見込みとなるが、目標達成が不可能ではない程度の進捗であった				進捗評価 B
今後の方向性	侵入防止柵設置の設置を推進する				

【令和6年度の実績】

- 有害鳥獣侵入防止柵設置 3地区 延長2,444m
鳥獣による農地侵入を防ぐために侵入防止柵を設置し、直接的な食害、掘り起し等を防止し、農作物被害軽減を図った。
- 市単独事業侵入防止柵設置補助（5件）
国補事業で対応できない小規模な侵入防止柵設置のための資材購入費の一部を補助し、鳥獣被害の軽減に努めた。
ワイヤーメッシュ柵 487m
電気柵3段 900m
- 連携市町村が実施した主な取組
 - ・猟友会との連携（勝浦町）
猟友会との連携により町内の有害鳥獣の捕獲を推進。
 - ・有害鳥獣の捕獲推進（上勝町）
町の捕獲許可を得た狩猟者に対し捕獲報奨金を出すことで有害鳥獣の捕獲を促進し、捕獲頭数が高い推移で維持出来たことで、被害の軽減を図ることができた。
 - ・鳥獣害対策報償金の支給・有害鳥獣捕獲事業の実施（佐那河内村）
 - ・鳥獣対策事業（石井町）
鳥獣被害防止緊急捕獲等対策を実施し、有害鳥獣の捕獲数の増加を図った。
 - ・神山町農作物鳥獣害防止対策事業（神山町）
農業者が町内の園地に侵入防止柵（電気柵、ワイヤーメッシュ等）を設置する際に補助金を交付した。侵入防止柵実績：50件、延長6,037m（見込み）

- 地区猟友会と協力し有害鳥獣の捕獲を推進。(板野町)
- 鳥獣被害から農地を守るため、ワイヤーメッシュ柵：800m 電気柵：1,200m を設置した。(板野町)
- 有害鳥獣の捕獲促進と被害防止対策設備に対する補助(上板町)
有害鳥獣による農林産物及び人間の生活環境への被害の防止を図るため、町の捕獲許可を得た有害鳥獣捕獲者に対し、捕獲報奨金を交付することにより有害鳥獣捕獲を促進。有害鳥獣による農業被害を防止するため、有害鳥獣被害防止対策設備を購入する者に対し、その経費の一部を補助。

■ 環境衛生

⑩ 公共施設の広域利用（2市2町1村）

事業名	火葬場利用促進事業				
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村				
取組内容	圏域内（小松島市）において、火葬場を整備する。 運営に当たっては、広域利用の促進及びその周知を行い、住民の快適で衛生的な生活環境の確保を図る。				
成果指標	連携市町村住民利用件数（年間）				
	当初値(令和元年度)	161件	目標値(令和7年度)		170件
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)
	167件	185件	182件	200件	
進捗状況	火葬場施設の備品等を設置したことにより、利用者の利便性が向上したほか、圏域住民の利用も増えており、概ね順調に取り組んでいる。				進捗評価 A
今後の方向性	施設の適正な管理運営に努めるとともに、引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図っていく。				

【令和6年度の実績】

○火葬場利用促進事業

- ・全国的に高齢化が進んでいることもあり、それに伴い死亡者数も増加傾向にある。業務が散漫にならないよう、多くの利用者に満足してもらえることを心がけるとともに、施設の適正な管理運営に努め、広域利用について引き続き広報媒体等により周知を行い、圏域住民の衛生的な生活環境の確保を図った。
- ・場内での感染症対策に努めた。
- ・指定管理者による管理運営を継続し、より質の高い維持管理を推進するため、管理運営状況、事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により実態把握を行い、利用者にとって公平且つ利便性の高い施設となるよう、施設の基本理念及び設置目的にも沿った適切な管理運営に努めた。

■ その他

⑪ 環境保全活動の推進（1市8町）

事業名	地球温暖化対策推進事業					
連携市町村	徳島市・勝浦町・上勝町・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内市町村が連携して地球温暖化対策に取り組むことにより、圏域内の住民、事業者、行政が行う温暖化防止活動の取組拡大を図る。					
成果指標	こどもエコチャレンジノート配布部数（年間）					
	当初値(令和2年度)	332部	目標値(令和7年度)		1,000部	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7
		359部	125部	116部	150部	
進捗状況	「こどもエコチャレンジノート」等を教材として、次世代を担う子どもたちを対象に小学校等で環境教室を実施し、家庭でできる地球温暖化対策の取組について、一緒に考える機会を持つことができた。				進捗評価 C	
今後の方向性	徳島市の「子ども環境リーダー認定事業」について、同リーダー認定に至るプロセスにおいて、学校（先生）の負担が一定程度あることから、可能な限り手続きを簡素化する方向で検討を行う。また、連携市町において環境学習を実施する機会が減少傾向にあることから、担当者で改善等を協議する機会を持つことを検討する。					
<p>【令和6年度の取組実績】</p> <p>○ノーマイカーデー、ライトダウンの実施 （徳島市・石井町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカーデー等に職員のマイカー通勤の抑制（公共交通機関や自転車の利用促進等）を呼びかけ。 ・ライトダウンデーやノー残業デーの呼びかけ、昼休みの消灯、開庁時間内においても不要な照明やOA機器等の消灯を実施。 <p>○環境学習の実施 （徳島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもエコチャレンジノート」等を活用し、小学校等において環境学習を実施。 <p>（勝浦町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生を対象とした出前授業を実施（2校）。勝浦町内で出たゴミ処理についてパワーポイントを用いた授業を実施。 ・保健部長会の開催 <p>（上勝町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民向け学習プログラムの実施 第1回～第9回（予定）ゼロ・ウェイスト勉強会（上勝町ゼロ・ウェイストタウン計画推進事業） <p>（松茂町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とくしまGXスクール認定校（松茂小、喜来小、長原小、松茂中） 						

- ・毎週金曜日の海岸清掃（長原小）
- ・松茂町環境センター、上勝町ゼロ・ウェイストセンター見学

（藍住町）

- ・ごみ焼却場の見学を実施。（小学生対象）

（上板町）

- ・「こどもエコチャレンジノート」を活用し、小学校等において地球温暖化対策に関する環境学習を実施。（市内4小学校の生徒を対象に配布、令和6年度見込配布部数30）

○エコアクション21の認証取得支援の実施

（徳島市）

- ・エコアクション21の認証取得のための事前説明会及びセミナー（全5回予定）を実施。
事前説明会参加数 4事業者 セミナー参加数 4事業者

（北島町・板野町・上板町）

- ・エコアクション21のセミナーや説明会を周知し、普及促進に努めた。

○連携市町村が実施した主な取り組み

（徳島市）

- ・住宅用太陽光発電設備等補助事業

自家消費型の太陽光発電の普及を図るため、住宅用太陽光発電設備や蓄電池等の設置費用を一部助成。

- ・「徳島市CO2削減チャレンジ事業所」認定事業

温室効果ガス排出量の削減に取り組む事業所（企業や学校等）を「徳島市CO2削減チャレンジ事業所」として認定するとともに、削減に取り組んだ事業所に対して表彰を実施。

（松茂町）

- ・住宅用太陽光発電設備補助事業

令和6年度中に、6戸の住宅に対して太陽光発電設備の設置補助を実施する予定。

（北島町）

- ・北島町重点対策加速化事業

地球温暖化問題に関する様々な情報提供を行い、対策を実施する際の補助制度を整えることで、町民自ら考え、行動していくための支援を実施。

- ・緑のカーテンコンテスト

緑のカーテンコンテストの開催及び町施設・町民へのゴーヤ苗の配布を行うことで、夏場の空調機器使用を抑え、地球温暖化防止を図った。

（藍住町）

- ・再生可能エネルギー設備等導入事業

ごみ焼却場の建屋に太陽光パネル及び蓄電池等を設置し、場内にLED照明を設置。公用車に電気自動車を導入。

（上板町）

- ・役場庁舎、関係施設で緑のカーテン事業を行うことで、夏場の空調機器使用を抑え、地球温暖化防止に努めた。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

■ 道路等の交通インフラの整備

⑫ 圏域内外を結ぶ道路網の整備促進等の連携（全市町村）

事業名	圏域道路網整備促進等事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域市町村が連携して、圏域内外を結ぶ主要幹線道路等の国・県への共同要望や市町村界に係る市町村道路改良の情報交換を実施する。				
成果指標	情報交換回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	1回	目標値(令和7年度)		1回
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
	1回	1回	1回	1回	
進捗状況	計画していた情報交換を実施し、成果指標の目標を達成できている。				進捗評価
					A
今後の方向性	引き続き情報交換等を実施し、各市町村との連携を図る。				
<p>【令和6年度の取組実績】</p> <p>○市町村界に係る道路整備推進のための情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者部会での情報交換を実施。（随時） <p>○連携市町村が実施した主な取組</p> <p>道路整備促進のための要望活動として、圏域内外を結ぶ主要幹線道路の早期整備促進について、各市町村が連携して要望活動を行った。（国交省四国地方整備局、中央省庁ほか）</p>					

■ 地域内外の住民との交流・移住促進

⑬ 文化・スポーツ交流の推進（2市5町）

事業名	ニュースポーツ用品の相互利用事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町					
取組内容	圏域内でのニュースポーツの普及・活動支援のため、圏域内の市町でニュースポーツ用品の相互利用を図る。					
成果指標	相互利用回数（年間）					
	当初値(令和元年度)	1回	目標値(令和7年度)	5回		
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7
		0回	0回	0回	0回	
	参加者数（年間）					
	当初値(令和元年度)	40人	目標値(令和7年度)	200人		
実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7	
	0人	0人	0人	0人		
進捗状況	実績なし。				進捗評価	
					C	
今後の方向性	連携市町とニュースポーツ普及の方向性を確認しながら進める。					
【令和6年度の取組実績】 実績なし。						

⑭ 就農支援体制の連携強化（2市7町1村）

事業名	就農支援体制連携強化事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・石井町・神山町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内外の就農希望者や意欲ある農業者に対し、農地活用情報・耕作放棄地をデータ化し、情報発信するとともに、耕作放棄地再生利用対策の取組状況の周知や新規就農希望者に対して農業体験事業を共同実施する。					
成果指標	農地中間管理機構を活用した農地貸借面積（ha）（累計）					
	当初値(令和2年度)	1.0ha	目標値(令和7年度)	20ha		
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)	R7
		2.5ha	4.4ha	5.9ha	7.4ha	
進捗状況	今年度も実績を積み上げ、令和7年度の目標値に向けて順調な結果となった。農地集積に向けた貸付者及び借受者のマッチングを推奨する取組の成果が出ている。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	今後も国や県の関連事業とともに推進することで、農地集積を図る。					
<p>【令和6年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地中間管理事業 <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構の事務（農地の貸付者及び借受者の受付・マッチング等）を行った。 ○連携市町村が実施した主な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者への資金的な援助を実施（勝浦町） 新規就農支援事業（経営支援型）新規就農者へ資金的な援助を実施（3年間で200万円） 実績見込み 新規就農者支援事業（経営支援型）継続1名 500,000円×1回 ・石井町藤の里いきがい農園事業（石井町） 遊休農地を活用し、住民に農作業の場を提供。自然の良さと物作りを楽しみ・収穫の喜びを体験することで、農耕に対する意識の高揚を図り、遊休農地を再生利用できた。 						

⑮ 移住・長期滞在の推進（2市3町1村）

事業名	移住・長期滞在推進事業					
連携市町村	徳島市・小松島市・勝浦町・上勝町・佐那河内村・神山町					
取組内容	中心市が持つ都市機能の魅力と、近隣市町村が持つ環境や地域コミュニティなどの農山地の魅力を活用した情報発信方法の研究を行い、徳島県、とくしまふるさと回帰推進協議会及び観光関係団体等と連携して、移住及び長期滞在地としての魅力を都市圏に向け情報発信する。					
成果指標	移住者数（年間）					
	当初値(令和元年度)	346人	目標値(令和7年度)		564人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(上半期)	R7
		1,133人	1,265人	1,318人	568人	
進捗状況	移住促進については、県等の関係機関と連携して取り組んでおり、移住者数も順調に取り組んでいる。				進捗評価 A	
今後の方向性	移住希望者の知りたい居住・しごと等の情報を提供することで、移住を促進し、定住人口の増加を図る。					

【令和6年度の実績】

○関係団体との連携

- ・県及びふるさと回帰推進協議会等との連携により、情報発信を行った。

○移住支援金支給事業

- ・連携市町村において、東京圏からのU・I・Jターン促進及び地方の担い手不足対策を目的に、各市町村への移住者に対して、移住に要する費用を支給する移住支援金支給事業を実施。

○連携市町村による移住・長期滞在推進事業

◇徳島市

- ・「徳島市移住交流支援センター」にて移住相談に応じるとともに、移住希望者向けパンフレットの配布や移住促進サイト・センター公式LINEなどを通して、情報発信を行った。
- ・地域産業の担い手確保のため、県外の人材を対象とした就労体験プログラムを実施する「ふるさとワーキングホリデー」に取り組み、令和4年度より保育人材に加え、藍染や木工などの伝統産業対象とし、人材の確保と移住の促進を図った。
- ・実際に徳島市を訪れ魅力や暮らしを体感する「移住体験ツアー」を実施し移住検討者にアプローチするとともに、「移住者交流会」により移住者のコミュニティ形成を図った。

◇勝浦町

・リフォーム補助金

町内施工業者を活用した住宅のリフォーム工事に要する経費の一部を補助金として交付。

補助額：リフォーム工事費の2/3以内で上限30万円

実績見込：32件、9,526千円

- 勝浦町住まい応援事業

町内において住宅を新築、建替え、購入をする者に対し、住まい応援事業補助金を交付。

補助額：新築等費用の 1/10 以内で上限 100 万円

町内業者が施工の場合さらに 10 万円の加算

町内業者が施工でさらに 18 歳未満の子と同居または 65 歳以上の高齢者と同居の場合さらに 10 万円の加算

実績見込：8 件、8,100 千円

- 地方生活実現移住支援金

勝浦町に移住した者に対して、補助金を交付する。

令和 6 年度の実績なし（令和 7 年 1 月 1 日時点）

- 移住相談関連

窓口にて直接相談や、ポータルサイトを通しての移住相談の受付件数 15 件（見込み）

勝浦町への移住者数（転入者数） 60 人（見込み）

移住希望者に対して空き家バンクの利用者登録や「トライアルハウス坂本家」の利用を促進。

東京、大阪の移住フェアに参加。相談件数：東京 7 件、大阪 3 件

◇上勝町

- 移住支援金支給事業

東京圏から移住者に対し移住に要する費用を支給。令和 6 年度は 1 名。

◇佐那河内村

東京、大阪の移住フェアに参加し、情報を発信した。

■ その他

⑩ 情報システムの共同研究（1市6町）

事業名	情報システム共同研究事業					
連携市町村	徳島市・上勝町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町					
取組内容	圏域内市町村が連携して情報システムに関する課題や問題点などについて情報交換し、対応策について協議するとともに、今後の自治体クラウド導入に対してのメリット・デメリット、各業務におけるその有効性等についての情報交換や研究を行う。					
成果指標	情報交換回数（年間）					
	当初値(令和2年度)		2回	目標値(令和7年度)		2回
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7
2回		2回	2回	2回		
進捗状況	自治体DX推進に向けた各自治体での取組状況について、連携市町間で情報交換を行った。また、行政運営に関する研究会のオンライン研修に参加した。				進捗評価 A	
今後の方向性	連携市町間の情報交換を継続するとともに、自治体DX推進に向けた取組事項等を進めるにあたり、必要な課題の洗い出しや、課題を解消するための対策等について連携市町間で調査・研究を行う。					
<p>【令和5年度の実績】</p> <p>○連携市町村において、自治体DX推進に向けたアンケート調査を行い、各自治体の取組状況について、情報共有を行った。</p> <p>○行政運営に関する研究会「DX推進のための人材育成」についてのオンライン研修に参加した。</p>						

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

■ 宣言中心市等における人材の育成

⑰ 圏域内市町村職員の人材育成（全市町村）

事業名	圏域内市町村職員人材育成事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	圏域自治体職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村が連携して合同研修会を開催する。				
成果指標	研修会開催回数（年間）				
	当初値(令和2年度)	0回	目標値(令和7年度)		1回
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
	0回	1回	1回	1回	
進捗状況	徳島市で「防災対策講演会」を実施し、5市町から8名の参加があった。				進捗評価
					A
今後の方向性	今後も圏域内市町村職員の意識改革と資質の向上を図るため、圏域内市町村共通の課題にかかる合同研修を実施する。				

【令和6年度の取組実績】

○「防災対策講演会」実施（令和6年7月25日、徳島市役所13階大会議室）

参加者：5市町から8名

内容：能登半島地震に係る被災地で支援活動を行った職員から活動報告を行ったほか、職員が持つべき心構え等について講義を行った。

アンケート結果：「研修内容」「研修テーマ」における評価は、「満足」「概ね満足」との評価を得ている。

○徳島大学上勝学舎支援事業

・サイクルツーリズム事業

観光名所をE=BIKEで巡るモデルコースの検討やガイドの育成を行い、山間部特有のアップダウンの激しい道でも、老若男女問わず体験できる観光ツールを開発中。また、モデルコースの情報公開サイトも構築中。

・アーカイブプロジェクト

上勝町のアート作品の解体・撤去にあわせて、東京芸大と連携し作品のアーカイブを行った。

・ワークショップ

地元中学生と連携し、昨年度制作した「かみかつしあわせかるた」を活用したワークショップを開催した。

■ 宣言中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

⑩ 外部からの人材の確保（全市町村）

事業名	外部人材共同招へい事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	専門的な知識や経験、実績、新しい発想などに優れた外部の人材を共同招へいして活用することにより、地域資源の発掘、新たな産業振興や人材育成など、各連携分野で専門的見地から助言や支援を求め、圏域の活性化を図る。				
成果指標	外部人材活用件数（R3～R7 累計）				
	当初値(令和2年度)	活用の検討	目標値(令和7年度)		活用の検討
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6
	0回	0回	0回	0回	
進捗状況	連携市町村において外部人材の活用を検討したが、招へいには至らなかった。				進捗評価
					C
今後の方向性	他の圏域における先進事例を調査・研究し、新たな活用の検討を図る。				
<p>【令和6年度の取組実績】</p> <p>○連携市町村において圏域の活性化を図るため、外部人材の活用の検討を行った。 （招へいには至らず。）</p>					

■ その他

⑱ 圏域内市町村の行政運営機能の強化（全市町村）

事業名	行政運営に関する研究会開催事業					
連携市町村	全市町村					
取組内容	連携市町村で「行政運営に関する研究会」を開催し、自治体をマネジメントしていく上で共通課題として重要度の高いテーマを研究することにより、自治体運営機能の強化及び圏域自治体間の連携強化を図る。					
成果指標	研究会開催回数（年間）					
	当初値(令和2年度)		1回	目標値(令和7年度)		
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7
		1回	1回	2回	2回	
	研究会参加自治体数（1回当たり）					
	当初値(令和2年度)		11市町村	目標値(令和7年度)		12市町村
実績(年度)	R3	R4	R5	R6	R7	
	12市町村	11市町村	9市町村	11市町村		
進捗状況	今年度の研究会については、日程調整や参加の利便性を考慮し、専門の講師による、オンライン形式でのセミナーを2回実施した。				進捗評価	
					B	
今後の方向性	引き続き、人材育成及び地方自治体をマネジメントしていく上で、共通課題として重要度の高いテーマを選定し、より多くの自治体に参加できるように、圏域自治体及び担当課と連携して、研究会を開催する。					
<p>【令和6年度の取組実績】</p> <p>○専門の講師を招き、オンライン形式でセミナーを2回実施した。セミナーの内容は、圏域内市町村の共通課題から選定し、「南海トラフ地震に係る防災・減災対策」及び「DX推進のための人材育成」について学習した。（令和6年10月3日、令和6年11月14日開催）</p>						

⑳ 地域づくり活動の育成・支援（全市町村）

事業名	地域づくり活動団体等育成・支援事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島市まちづくり協働プラザが圏域全体で NPO 等の団体や個人に対する育成・支援を行う。				
成果指標	地域づくり活動の参加者数（年間）				
	当初値(令和2年度)	42人	目標値(令和7年度)	1,000人	
	実績(年度)	R3	R4	R5	R6(見込)
	52人	1,307人	1,415人	2,090人	
進捗状況	圏域内からの多種多様な相談が寄せられるとともに、まちづくり協働プラザの活用も増えてきている。				進捗評価
					A
今後の方向性	今後も講座や相談支援などを続けていく。				
<p>【令和6年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏域内の市町村からアクセスしやすい徳島駅前のアミコビルにおいて、市民活動やまちづくり活動にかかわる人々の支援を行った。 地域づくり活動団体への相談支援については、圏域内の団体から多くの相談が寄せられ、様々な助言を行うことで、地域づくり活動の促進を図った。 広報誌では、圏域内の活動団体の活動内容を詳しく取り上げ、圏域内住民に対し広く情報発信をすることができた。 					

○ 圏域住民への普及啓発等（全市町村）

事業名	定住自立圏構想PR事業				
連携市町村	全市町村				
取組内容	徳島東部地域定住自立圏共生ビジョンの推進にあたり、圏域市町村の住民等に対して、連携事業の取組状況や成果について計画的な広報活動を行う。 (形成協定に規定していないが、包括財政措置の対象経費として認められる取組である。)				
<p>【令和5年度の実績】</p> <p>○定住自立圏構想推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各市町村のホームページを通じ、取組状況などを周知した。 					